

平成27年度 附属学校研究支援経費による研究成果概要報告書

報告者氏名・所属	荒川義弘・附属旭川小学校
研究期間	平成27年6月～平成28年3月
プロジェクトの名称	豊かな心をはぐくみ生き方の自覚を促す道德教育の推進 ～心あったか事業～
プロジェクト担当者 (氏名・所属・職) ※代表者に○を付す こと	○小山和歌子・附属旭川小学校・教諭 水上 丈実・旭川校・教授
成 果 の 概 要	
<p>本校の本年度重点目標である「思いやりの心」を育てるために、「道德の時間」「生徒指導」「教員の指導力向上」「特色ある学校の取組」において成果を上げることができた。「道德の時間」や日常の「生徒指導」においては、東京学芸大学附属小金井小学校や大阪教育大学附属天王寺小学校での取組,特に他校種との連携を生かした道德の時間の在り方について生かすことができた。「教員の指導力向上」においては、先進的な取組や考え方を関連する文献から得ることができ、先に記述した「道德の時間」や「生徒指導」に十分に生かすことができた。また、「特色ある学校の取組」においては、先進校視察を通して幼小中の関連を生かした指導の在り方の情報を得ることができた。これは、旭川団地で取り組んでいる「12年道德」を推進するためにも成果を得ることができた。</p>	
成 果 の 公 表 の 状 況	
<p>特に「12年道德」において、本年度は幼小中において、教育課程に位置付けて実践するために必要な条件整備を進めてきた。幼小中で共通した指導項目で道德の指導を進めるのではなく、あくまでも共通体験を事前・事後の活動として位置付け、教育課程の中に馴染ませていくことが重要であることから、各学校園の年間指導計画の中に踏まえられている状況をつくり、学習環境の整備を進めた。幼稚園においては、道德が存在せず、指導を活動の中で進めていくようになっているため、12年道德として一貫して進められるように教育課程を新たに作成した。上記資料を旭川団地で共有したこと、北海道教育委員会との連携事業における派遣時に紹介したこと、また、教育研究大会においてこのような取組を公表したことがあげられる。</p>	
教育現場で活用可能な分野等	
「道德」における幼小中連携における実践資料	
配付可能な資料の有無	なし
ダウンロード可能なドキュメント	なし

問い合わせ先	責任者：荒川 義弘 電 話：0166-52-2361) FAX : 0166-52-2363 mail : asa-fusho@j.hokkyodai.ac.jp
--------	--